

地域資料の紹介

『発掘写真で訪ねる世田谷区古地図散歩
—明治・大正・昭和の街角 荏原郡・北多摩郡の時代にタイムトリップ!』

著/坂上正一
出版/フォト・パブリッシング
出版年/2019年
請求記号/GA21

東京市発足130年記念として出版された本書。
明治・大正・昭和の古地図や写真と共に土地にまつ
わる出来事や地域の転換期、原点なども紹介。古地
図とともに、うつろいゆく街の時空散歩はいかが？

はっぴいコーナー

このコーナーでは、世田谷区の障がい者施設で作られた
商品、「はっぴいハンドメイド」のご紹介をします！

ファクトリー藍

手漉き藍染ポストカード

牛乳パックをリサイクルした手漉きはがきに
ファクトリー藍で染めた藍染生地をコラージュ。

¥150



ひと手間加えて
センスアップ★

この本を参考にして作りました！

『手作りカード BOOK—作る楽しさ、開く嬉しさ、贈る喜び—』
鈴木孝美著 プティック社 2009年刊 請求記号:754 す

図書館スタッフからのおすすめ本(テーマ:動物)



『外来生物事典』

池田清彦監修 DECO 編 東京書籍 2006年刊

かつて日本には「日本固有の生物」がいました。古代から現在
まで形を変えずに生きている生物がたくさんいます。例えば
「オオサンショウウオ」「イリオモテヤマネコ」「ツシマヤマネコ」
「ヤンバルクイナ」など。それらの動物はめったにお目にかかる
ことはありません。しかし、人に危害をあたえ、農作物に被害が
出たりと人間を悩ませているのがこの「外来生物」です。他の
外来種も載っているので、わかりやすいです。この本を読んで
あらためて「外来生物」をよりよく知ってもらいたいです。在来生
物も大切にしてもらえればと思います。

請求記号:468 か

『動物がくれる力—教育、福祉、そして人生—』

大塚敦子著 岩波書店 2023年刊

人と動物との関係について三十年余り取材してきた著者による、
国内外での数々の取り組みが紹介されています。教育、
福祉、司法、医療などの現場で、動物が介在することでうまくい
くことの多い事例がたくさんあることに驚かされます。そこには
ただそばに寄り添い続けてくれる動物の存在に癒される人々の
姿があります。

動物を通して、他者と共に生きるとはどういうことなのかと
いうところまで考えるきっかけになる本です。

請求記号:645 お

『水車小屋のネネ』

津村記久子著 毎日新聞出版 2023年刊

田舎の水車小屋にすむ『ネネ』という
おしゃべりな鳥ヨウムと、関わるひとびととの物語。
とても賢くユニークなネネに癒されます。

2024年「本屋大賞」第2位！

請求記号:F1 つ



『岩合光昭のネコ』

岩合光昭著 新潮社 2014年刊

岩合光昭さんと言えばご存じのように「ネコ写真家」と
して有名です。書店に行くと名前を見かけることが多い
方です。写真のネコたちはどこにでもいる普通の野良猫
たち。「子ネコ」から「親ネコ」「ボスネコ」やかわいらしい
ネコたちばかり。もちろん、日本全国の「ネコ」を撮ってい
ます！北は北海道、南は沖縄までネコが盛りだくさん！
ページを開いて見ると本当に「ネコ」のとりこになりそう
です。ネコ好きじゃなくてもネコが好きな人でも読んでみ
てほしいです。きっとネコが好きになってくると思います。

請求記号:BN74

『十二支になった動物たちの考古学』

設楽博己編著 新泉社 2015年刊

2024年は辰年。日本列島に龍の絵が登場するのは、紀元
一世紀・弥生後期の青銅鏡。その鏡には白虎、玄武、朱雀と
青龍が描かれているそうです。また、司馬遷の『史記』では、
神の山・崑崙山に昇りきるためには龍に乗らなければいけない
というエピソードもあります。

龍は十二支の中で唯一架空の動物ですが、縁起ものや、水の
神様として祀られている神社もたくさんありますね。

私たちの生活にも馴染み深い動物たちのこと、いつもと違う
視点で考えてみませんか。

請求記号:220 し

『極楽鳥とカタツムリ』

澁澤龍彦著 河出書房新社 2017年刊

高丘親王は、天竺に向かって従者たちと南の海を
航海中、笛の音に誘われて現れた全身うす桃色の
儒良と寝食を共にすることとなる「儒良」。地に落ち
た丸いものに触れると、骨髓にしみとおるような
香気や胸がむかむかするほどの悪臭がする「猿園」。

偏愛的・神秘的、且つ奇妙に描かれた、動物をめぐる
物語二十八篇を集めた短編集です。

請求記号:B1 し



イベントの報告

8月4日(日曜日)14:00~16:00

於 経堂地区会館別館

『10代のための入門マーケティング講座』

を開催しました。

講師に拓殖大学商学部准教授の西大輔先生をお招きし、そもそもマーケティングとはなにか、学ぶ利点やどんな学部で学べるかなどの講義が行われました。

小学生から大学生までの幅広い年代の方たち20名にご参加いただきました。身近な事例をもとにグループで意見交換を行う場面では活発に意見が交わされていました。

みなさま、お疲れ様でした！



イベントのおしらせ

講演会『螢と斧—寺山修司が短歌にこめたこと—』

会場:梅丘パークホール

日時:10月6日(日曜日) 14:30~16:00

定員:60名(申込制)

費用:無料

舞台や映画、競馬コラムまでマルチに活躍した寺山修司。現代でも人々を魅了する創作の原点は俳句や短歌にありました。主宰した演劇集団「天井桟敷」は世田谷区を活動の拠点に始まったともいわれます。

そんな世田谷区ともゆかりの深い寺山修司について、今回は歌人の今野寿美さんをお招きし、「螢と斧」をキーワードに、寺山修司が短歌にこめたことを紐解いていきます。

詳しくは館内配布のチラシをご覧ください。



『大人のための朗読会』のおしらせ

ボランティア団体の朗読による『大人のための朗読会』を開催しています

【9・10月の開催スケジュール】

※演目内容は、変更になることもございます。

9/5 (木) 10:30~

木洩れ陽 のみなさん

演目内容

「置いてけ堀」 宮部みゆき

「九月の精霊」 川上弘美

10/24 (木) 10:30~

朗読を楽しむ会「言の葉」 のみなさん

演目内容

「鏡」 村上春樹

「空中ブランコのりのキキ」 別役実

「水仙」 瀬戸内寂聴

📍 開催場所: 経堂地区会館本館
2階 第三会議室

本館です

🕒 開場時間: 10:15

📍 参加無料、事前申込不要、先着15名までです。

📢 開催が急遽中止・変更になることもございます。

■ホームページ (世田谷区立図書館 HP 内)

<https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/contents?3&pid=86>

■Instagram

@setagaya_kyodo_lib



世田谷区立経堂図書館
世田谷区宮坂3-1-30 Tel. 5451-0071 FAX 5450-1088



図書館スタッフからのおすすめ本

9/20~9/26は動物愛護週間です。動物の愛護と、適切な飼養についての理解と関心を深めるため制定されました。

犬、猫、魚、鳥、爬虫類…「動物は命あるもの」であることを再度認識したうえで共存していけると良いですね。

(おすすめ本は見開きに掲載しています)

展示コーナーのご案内

毎月、異なったテーマに沿って本の紹介をする、展示コーナーを館内に設けています。ご来館の折にはぜひどうぞ。

一般展示 詩歌の世界への招待

展示期間 : 9/20 ~ 11/20

ビジネス展示 マーケティング入門

展示期間 : 8/16 ~ 10/16

※展示場所は変動する場合がございます。ご了承ください。

★ 展示場所 : ビジネスコーナー付近のブックトラック

休館日のご案内

今月・来月の休館日は、以下の通りになります。

9月19日(木) 10月17日(木)